SONY

Rolly

取扱説明書
サウンドエンターテインメントプレーヤー
SEP-50BT

 Printed in Malaysia

4-119-970-**01** (1)

安全のために

⚠警告 電気製品は安全のための注意事項を守らないと、火災や人身事故になることがあります。

この「取扱説明書」には、事故を防ぐための重要な注意事項と製品の取り扱いかたを示しています。**この「取扱説明書」の66 ～ 71ページに記載されている「安全のために」をよくお読みのうえ、製品を安全にお使いください。**
お読みになったあとは、いつでも見られるところに必ず保管してください。

機器認定について

本機は、電波法に基づく小電力データ通信システムの無線設備として、認証を受けています。したがって、本機を使用するときに無線局の免許は必要ありません。ただし、以下の事項を行うと法律に罰せられることがあります。

- 本機を分解/改造すること
- 本機のバッテリーふた内側に貼ってある証明ラベルをはがすこと

周波数について

本機は2.4 GHz帯の2.4000 GHzから2.4835 GHzまで使用できますが、他の無線機器も同じ周波数を使っていることがあります。他の無線機器との電波干渉を防止するため、下記事項に注意してご使用ください。

本機の使用上の注意

本機の使用周波数は2.4 GHz帯です。この周波数帯では電子レンジ等の産業・科学・医療用機器のほか、他の同種無線局、工場の製造ライン等で使用される免許を要する移動体識別用構内無線局、免許を要しない特定の小電力無線局、アマチュア無線局等（以下「他の無線局」と略す）が運用されています。

1. 本機を使用する前に、近くで「他の無線局」が運用されていないことを確認してください。
2. 万一、本機と「他の無線局」との間に電波干渉が発生した場合には、速やかに本機の使用場所を変えるか、または機器の運用を停止（電波の発射を停止）してください。
3. 不明な点その他お困りのことが起きたときは、ソニーの相談窓口までお問い合わせください（☞ 83ページ）。

2.4FH1 この無線機器は2.4 GHz帯を使用します。変調方式としてFH-SS変調方式を採用し、与干渉距離は10 mです。

目次

マニュアルについて

本機には、「取扱説明書」と「クイックスタートガイド」の2つのマニュアルを付属しています。また、付属のソフトウェアをインストールするとソフトウェアのヘルプを参照できます。

- クイックスタートガイド
  音楽再生、モーション再生の基本的な準備と操作を説明しています。
- 取扱説明書（本書）
  本機のすべての準備と操作方法を説明しています。困ったときの対処方法や、本機を安全にお使いいただくための注意事項なども記載しています。
- SonicStage Vのヘルプ
  音楽をパソコンに取り込む方法や本機へ転送する方法など、SonicStage Vの操作について説明しています。
- Motion Editorのヘルプ
  モーションを作成して本機の音楽に登録する方法や、本機の設定を変更する方法などの操作について説明しています。
- Rolly Remoteのヘルプ
  Bluetooth®通信で本機とパソコンを接続し、Rolly Remoteから本機を操作する方法などについて説明しています。

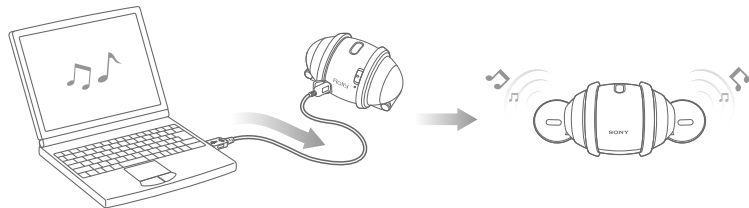
はじめに

本機はフラッシュメモリーを内蔵した音楽プレーヤーです。Bluetooth無線技術も搭載しています。本機に付属している3つのソフトウェア「SonicStage V」「Motion Editor」「Rolly Remote」を使って、以下の機能をお楽しみいただけます。

音楽とモーションを楽しむ

付属のソフトウェア「SonicStage V」を使って本機に音楽を転送し、付属のソフトウェア「Motion Editor」で本機の音楽にモーション*を登録して、音楽とモーションの再生をお楽しみいただけます（☞ 18ページ）。モーションを本機に登録せずに、セルフモーション機能でモーションの再生を楽しむこともできます（☞ 34ページ）。

* 音楽に合わせて本機が動くことを「モーション」と呼びます。

つづく ☞

Bluetooth通信でRolly Remoteを使って本機を操作する

付属のソフトウェア「Rolly Remote」を使って本機とパソコンをBluetoothコントロールモードで接続し、Rolly Remoteから本機を操作して、音楽やモーションを再生したり、本機を操縦したりすることができます（☞ 38ページ）。

Bluetooth通信で本機をスピーカーとして使う

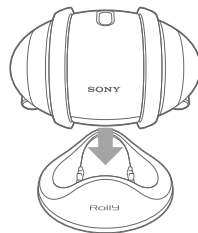
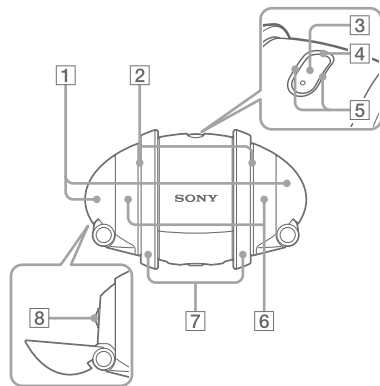
本機とBluetooth機能搭載音楽プレーヤー（携帯電話やデジタル音楽プレーヤーなど）をBluetoothスピーカーモードで接続し、本機をワイヤレススピーカーとして使うことができます。Bluetooth機能搭載音楽プレーヤーに入っている音楽を本機のスピーカーで聞くことができます（☞ 46ページ）。

付属品を確かめる

- □ USBケーブル（1）
- □ 充電式リチウムイオンバッテリー（1）
  お買い上げ時、バッテリーは本機からはずしています。お使いになるときは、バッテリーを本機に入れてください（☞ 14ページ）。
- □ CD-ROM*（1）
  - SonicStage Vソフトウェア
  - Motion Editorソフトウェア
  - Rolly Remoteソフトウェア

  * 音楽CDプレーヤーでは再生しないでください。
- □ スタンド（1）
- □ 取扱説明書（本書）（1）
- □ クイックスタートガイド（1）
- □ 保証書（1）
- □ ソニーご相談窓口のご案内（1）
- □ カスタマー登録のお願い（1）

スタンドの使いかた

本機をスタンドにのせると、本機を固定した状態でお使いいただけます。

正面

1 アーム（右/左）（☞ 13、28、34ページ）

音楽再生中に開きます。モーション再生中は、音楽に合わせて開閉します。
アームは、安全のためにはずれる構造になっています。

2 サイドランプ（☞ 28、34ページ）

再生モードや本機の状態をお知らせします。モーション再生中は、モーションに合わせて色を変えたり、点滅したりします。

水色：ノーマル再生
紫：シャッフル再生
オレンジ：操作の切り換え可能
赤：曲やモーションのファイルが壊れている、またはモーション再生時、各部に過負荷がかかっている
青：Bluetoothスピーカーモード接続時
ピンク：Bluetoothコントロールモード接続時

3 プレイボタン（☞ 28、34、43、48、51ページ）

音楽やモーションの再生・停止、Bluetooth通信のペアリング・接続時に使います。

4 Bluetoothランプ（☞ 43ページ）

Bluetooth通信の状態を青でお知らせします。
点灯：未接続
0.5秒に1回点滅：ペアリング処理中
2秒間に1回点滅：接続待機中
5秒間に1回点滅：Bluetoothスピーカーモードで接続中
5秒間に2回点滅：Bluetoothコントロールモードで接続中

5 プレイボタンランプ（プレイボタンの周辺）（☞ 16、35ページ）

再生中の本機の状態や、バッテリーの状態をお知らせします。

白：モーションが登録されている曲を再生中
緑：モーションが登録されていない曲を再生中
オレンジ：バッテリーの状態表示
黄：USB接続による充電完了

6 ショルダー（右/左）（☞ 28、34ページ）

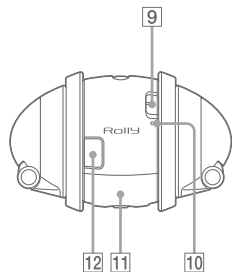
音楽再生開始時に固定の位置に移動します。モーション再生中は、音楽に合わせて動きます。

7 ホイール（右/左）（☞ 13、28、34ページ）

音楽再生中に回転させて、音量や曲、グループを変更します。モーション再生中は、音楽に合わせて回転します。

8 スピーカー

つづく ☞

背面

9 電源スイッチ（☞ 28、34、40、43、48、51ページ）

ON：電源入（音楽やモーション再生時）
OFF：電源切
Bluetooth：電源入（Bluetooth通信時）

電源を入れると起動音が鳴り、アームが一度開きます。起動音が鳴らないように設定することもできます（☞ 55ページ）。

「ON」「Bluetooth」の状態で約30秒間何も操作しないと、サイドランプが消灯し省電力状態になります。

10 リセットボタン（☞ 58ページ）

再生位置や再生モード、音量を初期値に戻します。
リセットボタンを押しても、本機に保存しているデータは消去されません。

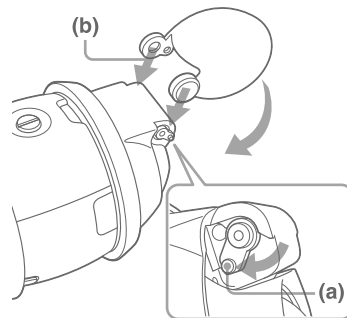
11 バッテリーふた（☞ 14ページ）

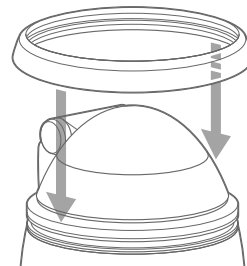
つまみを回してふたをあけ、バッテリーを入れます。

12 USB端子（☞ 15ページ）

パソコンと本機を接続するときに、カバーをあけてUSB端子にUSBケーブルをつなぎます。

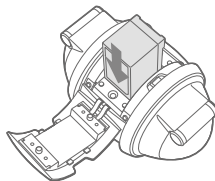
アームがはずれたときは

ショルダーを押さえた状態で、ジョイント部を押し下げて（a）、アームを取り付け（b）、アームを閉じます。

ホイールがはずれたときは

ホイールの上下の向きを確認し、本機の溝に合わせてはめ込みます。

本機は、付属の充電式リチウムイオンバッテリー（以下、バッテリーと呼びます）で動作します。はじめてお使いになるときやバッテリーが消耗したときは、本機をパソコンにつないで充電してください。

バッテリーを入れる

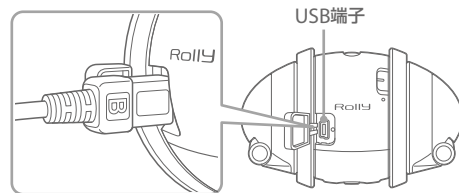
1 バッテリーふたのつまみをコインなどで「OPEN」方向へ回し、バッテリーふたを開ける。

2 バッテリーを奥までしっかりと差し込み、バッテリーふたを閉める。

3 バッテリーふたのつまみをコインなどで「CLOSE」方向へ回し、バッテリーふたを閉める。

ご注意

- バッテリーふたは必ず閉めてください。バッテリーふたを閉めずに本機を動作させると、故障の原因となります。
- バッテリーを入れるときは、バッテリーふたに指をはさまないようご注意ください。

充電する

1 USB端子のカバーを開け、付属のUSBケーブルをUSB端子につなぐ。

2 USBケーブルのもう一方を、パソコンのUSB端子につなぐ。

プレイボタンランプがオレンジに点灯し、充電が始まります。充電が完了すると、プレイボタンランプが黄色に変わります。充電は約5時間*で完了します。
（別売りのRolly専用充電クレードルで充電した場合は、充電が完了すると、プレイボタンランプが消灯します。充電は約3時間*で完了します。）

* +25℃でバッテリー残量がない状態から充電したときの目安です。バッテリーの使用状況や充電環境により、充電時間は異なります。

ご注意

- 本機をパソコンに接続するときは、電源スイッチを「OFF」にしてから接続してください。
- 本機をパソコンに接続しているときは、本機を操作することはできません。
- 本機をパソコンに接続した状態で、パソコンの終了、再起動をしないでください。本機が正しく動作しなくなることがあります。
- USBハブを介して、本機とパソコンを接続しないでください。

つづく ☞

- 充電は+10℃～＋30℃の環境で行ってください。これ以外では効率の良い充電ができないことがあります。
- バッテリーを使い切った状態のとき、または長い間使わなかったときは、充電を始めても数分間プレイボタンランプがオレンジに点灯しないことがあります。数分間すると、プレイボタンランプがオレンジに点灯し充電が始まります。
- 長期間本機を使用しない場合は、バッテリーを本機から抜いてください。バッテリーを抜いた場合は、本機の時計、ウェイクアップタイマーの設定がお買い上げ時の状態に戻ります。

バッテリーの残量を確認するには

電源スイッチが「ON」または「Ⓑ」になっている状態で本機を右図のように持ち上げると、プレイボタンランプでバッテリーの残量を表示します。
省電力状態になっているときは、確認できません。

プレイボタンランプの状態	バッテリーの残量
オレンジが3秒間点灯	充分にあります。
オレンジが3秒間ゆっくり点滅	少なくなっています。
オレンジが3秒間速く点滅	消耗しています。* 残量がなくなると、プレイボタンランプがオレンジに5秒間速く点滅したあと、自動的に省電力状態になります。

* バッテリーが消耗しているときは、モーションを再生できません。

バッテリーの持続時間[1]

（JEITA[2]）

本機の状態	持続時間
音楽再生時[3]	約5時間
音楽とモーション再生時[3][4]	約4時間
Bluetooth通信で音楽再生時	約4時間30分
Bluetooth通信で音楽とモーション再生時[4]	約3時間30分

(1) バッテリーが満充電の場合の測定値です。
(2) JEITA（電子情報技術産業協会）規格による測定値です。
(3) 音楽はATRAC64kbpsの曲で測定しています。
(4) モーションはソニー基準のモーション（オートモーション相当）および使用環境で測定しています。なお、モーション再生は1曲再生すると停止します。モーションの連続再生はできません。

ご注意

- 周囲の温度や使用状況、音楽ファイルの種類やモーションにより、上記の持続時間は異なる場合があります。
- 持続時間は+25℃で使用したときの場合です。低温の場所で使うと、音楽再生、モーション再生時間はそれぞれ短くなります。
- 長い間本機を使わなかったときは、バッテリーの持続時間が短くなることがあります。バッテリーを使い切ってから充電することを繰り返すと、充分に充電できるようになります。
- 充分に充電してもバッテリーの持続時間が通常の半分ぐらいに低下した場合は、バッテリーの寿命と考えられます。バッテリーの交換については、ソニーの修理相談窓口にご相談ください。

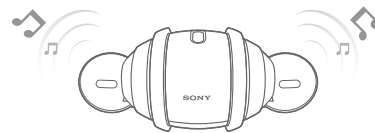
音楽とモーションを楽しむ

本機は、付属のソフトウェアSonicStage Vを使って本機に転送した音楽を再生します。
また、付属のソフトウェアMotion Editorでモーションを作成して本機の音楽に登録し、
音楽とモーションの再生をお楽しみいただけます。

1 ソフトウェアをインストール
（20ページへ）

2 SonicStage Vで音楽を転送
（24ページへ）

3 Motion Editorで音楽にモーションを登録
（26ページへ）

4 音楽とモーションを再生
（28、34ページへ）

ソフトウェアをインストールする

本機に付属の3つのソフトウェア、SonicStage VとMotion Editor、Rolly Remoteをインストールします。
本機を使用するのに必要なパソコンの動作環境は、21ページをご覧ください。
お使いのパソコンにすでにSonicStage（Ver.4.4以前）がインストールされている場合、SonicStage Vは上書きインストールをせず、共存します。登録されている音楽データをSonicStage Vに取り込むことができます。本機に音楽転送する際は、SonicStage Vをお使いください。

1 パソコンの電源を入れ、Windowsを起動する。
Administrator権限、またはコンピューターの管理者でログオンしてください。

2 起動中のソフトウェアを終了する。
インストール中の負荷が大きくなるため、ウィルスチェックソフトを含め、すべての起動中のソフトウェアを終了してください。

3 パソコンのドライブに付属のCD-ROMを入れる。
インストーラーが自動的に起動し、メインメニューが表示されます。

4 ソフトウェアをインストールする。
注意事項をよく読んで、画面の指示に従って操作します。お使いの環境によっては、20 ～ 30分かかる場合があります。インストール後に再起動が必要な場合は、画面の指示に従ってパソコンを再起動してください。

ご注意

Windows VistaでWindows Aero機能を有効にしてお使いの場合、Motion Editorのプレビューエリアが正しく表示されないことがあります。
Motion Editor起動時にWindows Aero機能を無効にするには、下記の手順を行ってください。

1 Motion Editorのデスクトップアイコンを右クリックして、「Motion Editorのプロパティ」画面を表示し、[互換性]タブをクリックする。
2 [デスクトップ コンポジションを無効にする]にチェックを入れ、[OK]をクリックする。

本機を使用するのに必要なパソコンの動作環境

- 本機を使用するのに必要なパソコンのシステムは下記のとおりです。
  - パソコン
    下記のOSを標準インストールしたIBM PC/AT互換機専用です（日本語標準インストールのみ）。
    Windows Vista Ultimate（Service Pack 1を含む）/Windows Vista Business（Service Pack 1を含む）/Windows Vista Home Premium（Service Pack 1を含む）/Windows Vista Home Basic（Service Pack 1を含む）/Windows XP Media Center Edition 2005（Service Pack 2以降）/Windows XP Media Center Edition 2004（Service Pack 2以降）/Windows XP Professional（Service Pack 2以降）/Windows XP Home Edition（Service Pack 2以降）
    ※ 上記以外のOSでは動作保証いたしません。
    ※ 64bit版のOSには対応しておりません。
  - CPU：Windows Vistaの場合はPentium Ⅲ 800MHz以上、Windows XPの場合はPentium Ⅲ 450MHz以上
  - メモリ：Windows Vistaの場合は512MB以上（1GB以上を推奨）、Windows XPの場合は256MB以上（512MB以上を推奨）
  - ビデオメモリ：64MB以上
  - ハードディスクドライブ：200MB以上（1.5GB以上を推奨）の空き容量
    （お使いのWindowsのバージョンによってはそれ以上使用する場合があります。また、音楽ファイルを扱うための空き容量がさらに必要です。）

つづく ☞

– ディスプレイ：1024×768ピクセル以上、ハイカラー（16ビットカラー）以上
（256色以下では正しく動作しない場合があります）
– CD-ROMドライブ：WDMによるデジタル再生機能に対応しているドライブ
（音楽CD/ATRAC CD/MP3 CDを作成する場合は、CD-R/RWドライブが必要です。）
– サウンドボード
– USBポート（USB2.0推奨）

- Microsoft Internet Explorer 5.5以上がインストールされている必要があります。
- インターネット音楽配信サービス（EMD）、モーションのアップロード/ダウンロードを利用する場合や、SonicStage Vでバックアップしたデータを復元する場合は、インターネットへの接続環境が必要です。
- 上記の環境を満たすすべてのパソコンでの動作を保証するものではありません。
以下のシステム環境での動作保証はいたしません。本機が過熱したり故障したりすることがあります。
自作パソコン/標準インストールされているOSからほかのOSへのアップグレード環境/マルチブート環境/マルチモニタ環境/Macintosh
- すべてのパソコンに対して、システムサスペンド、スリープ（スタンバイ状態）、ハイバネーション（休止状態）などの動作を保証するものではありません。

ソフトウェアをアンインストールする

インストールした付属のソフトウェアをパソコンから削除したいときは、以下の手順に従ってください。

1 「スタート」メニューから「コントロールパネル」をクリックする。

2 「プログラムの追加と削除」*1 をダブルクリックする。

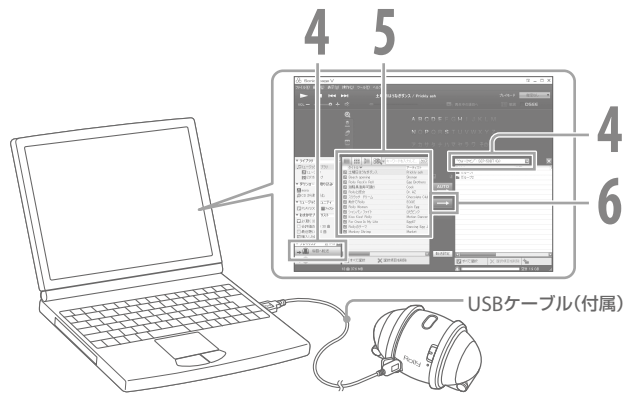
3 一覧から削除したいソフトウェア「SonicStage V 5.0」または、「Motion Editor 1.1」、「Rolly Remote1.0」を選び、「削除」*2 をクリックする。

メッセージに従ってパソコンを再起動します。再起動が完了すると、アンインストールは終了です。

*1 Windows Vistaでは「プログラムのアンインストール」または「プログラムと機能」
*2 Windows Vistaでは「アンインストールと変更」

ご注意

SonicStage Vをインストールすると、「OpenMG Secure Module」もインストールされます。
「OpenMG Secure Module」は、他のソフトウェアでも使用していることがありますので削除しないでください。

SonicStage Vはパソコンで音楽を管理するソフトウェアです。SonicStage Vのミュージックライブラリに取り込んだ音楽を本機に転送します。

1 [スタート]－[すべてのプログラム]－[SonicStage V]－[SonicStage V]の順に選ぶ。
SonicStage Vが起動します。

2 付属のUSBケーブルで本機とパソコンを接続する。
本機がパソコンに認識されると、本機のプレイボタンランプが点灯します。

3 SonicStage Vのミュージックライブラリに音楽を取り込む。
取り込み方は、SonicStage Vのヘルプをご覧ください。

4 [機器へ転送] をクリックして、転送先選択リストで["Rolly" SEP-50BT]を選ぶ。

5 転送する曲やアルバムを選ぶ。

6 [→] をクリックして、転送を始める。
転送を途中で止めるには、[中止]をクリックします。

本機に転送した曲を削除するときは

本機内の曲の削除は、SonicStage Vで本機の曲をSonicStage Vに戻すか、SonicStage Vで削除してください。詳しくはSonicStage Vのヘルプをご覧ください。

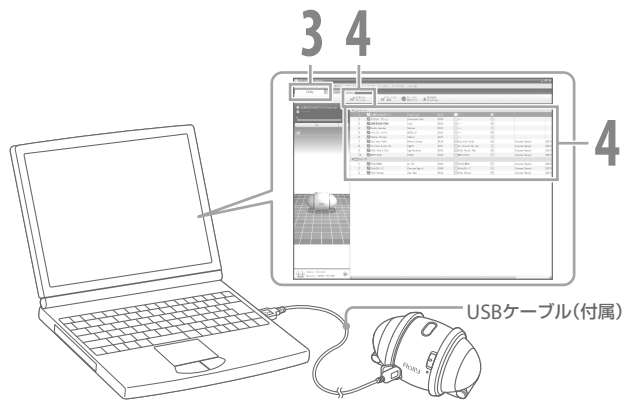
ヒント

- SonicStage Vのミュージックライブラリで「アルバム」「プレイリスト」と呼んでいるものを、本機では「グループ」と呼びます。
- 本機内でのグループの順番は、SonicStage Vでの本機内の曲表示一覧の上から順番に、1、2、3、・・・となります。
- "ネットジューク"から本機に音楽を転送することもできます。対応している"ネットジューク"機種については、「Rollyカスタマーサポート」のホームページ(http://www.sony.co.jp/rolly-support)をご覧ください。音楽の転送方法については、"ネットジューク"の取扱説明書をご覧ください。
"ウォークマン"へ転送する手順と同じ手順で本機に転送できます。

ご注意

- 本機をパソコンに接続するときは、電源スイッチを「OFF」にしてから接続してください。
- 転送中(本機へのデータ書き込み中)はプレイボタンランプが点滅します。転送中はUSBケーブルをはずさないでください。
- SonicStage Vで本機内の曲を削除すると、曲に登録されているモーションも削除されます。
- 電源コードを接続していないノートパソコンと本機を接続した場合、ノートパソコンのバッテリーが消耗します。電源コードを接続していないノートパソコンと本機を接続したまま長時間放置しないでください。

Motion Editorで音楽にモーションを登録する

SonicStage Vで本機に転送した曲に、Motion Editorで作ったモーションを登録します。ここでは、簡単にモーションを作成して登録できる「おまかせモーション」での方法を説明します。
モーションを本機に登録せずに、セルフモーション機能でモーションの再生を楽しむこともできます（☞ 34ページ）。

1 **［スタート］－［すべてのプログラム］－［Motion Editor］－［Motion Editor］の順に選ぶ。**
Motion Editorが起動します。

2 **付属のUSBケーブルで本機とパソコンを接続する。**
本機がパソコンに認識されると、本機のプレイボタンランプが点灯します。

3 **［Rolly］タブをクリックする。**
Rolly画面に切り替わり、本機に入っている曲の一覧が表示されます。
SonicStage Vが起動している場合はSonicStage Vを終了してください。
SonicStage V起動中は本機内の曲の一覧が表示されません。

4 **モーションを登録したい曲を選び、［おまかせモーション］をクリックする。**

5 **確認画面が表示されたら、［はい］をクリックする。**
曲が解析されるとモーションが自動的に作成され、モーションの登録が完了します。

ご注意

- 本機をパソコンに接続するときは、電源スイッチを「OFF」にしてから接続してください。
- モーション登録中はプレイボタンランプが点滅します。モーション登録中はUSBケーブルをはずさないでください。
- 電源コードを接続していないノートパソコンと本機を接続した場合、ノートパソコンのバッテリーが消耗します。電源コードを接続していないノートパソコンと本機を接続したまま長時間放置しないでください。

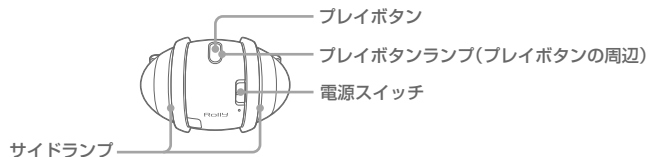
ヒント

Motion Editorでは、自分で好みのモーションを作成、編集したり、SonicStage Vの曲を呼び出してモーションを作成したりできます。また、本機の設定を変更することもできます。詳しくはMotion Editorのヘルプをご覧ください。

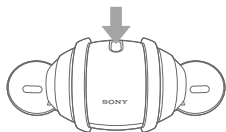
「Motion Park」について

インターネットのサービスサイト「Motion Park」（http://rolly.jp.sonystyle.com/）にアクセスすると、Motion Editorで作成したモーションをアップロードしたり、モーションをダウンロードしてMotion Editorに登録することができます。詳しくはMotion Editorのヘルプをご覧ください。

音楽を再生する

SonicStage Vから本機に転送した音楽を再生します。
音楽と一緒にモーションを再生することもできます（☞ 34ページ）。

1 電源スイッチを「ON」にする。
起動音が鳴り、電源が入ります。

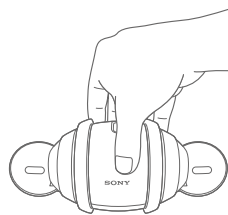
2 SONYロゴを手前にして置く。

3 プレイボタンを押す。
アームが開き、再生が始まります。
再生中はプレイボタンランプが点灯します。ランプの色で、モーションの登録状態をお知らせします（☞ 35ページ）。
モーションを再生する方法については、34ページをご覧ください。

音楽再生を停止するには

再生中にプレイボタンを押します。再生を停止し、アームが閉じます。

操作方法について

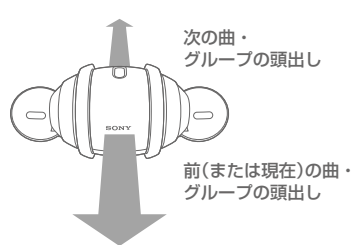
本機は、「置いて操作」と「手に持って操作」の2通りの方法で操作することができます。
下図のように本機を持ちます。

置いて操作

SONYロゴを手前にして置きます。
音楽再生中にホイールを回転させて操作します。

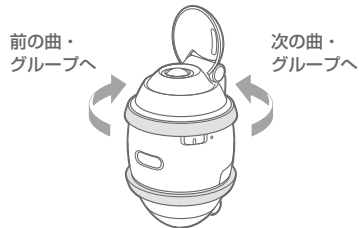
手に持って操作

本機を立てて持ちます。音楽再生中にホイールを左右に回して操作します。

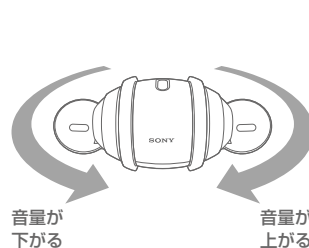
つづく ☞

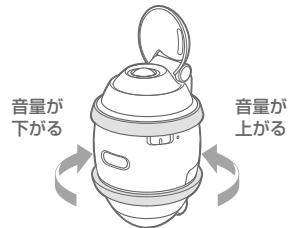
曲を変える

音楽再生中にホイールを小さく動かすと、操作音が鳴り、曲が変わります(1)。
ホイールを大きく動かすと、操作音が鳴り、音声でグループ番号（「グループ1（ワン）」など）を読み上げたあと、グループが変わります(2)。

(1) 再生を開始してから5秒以上経過しているときに前の曲に戻す操作をすると、再生中の曲の頭出しになります。

(2) グループの1曲目の場合：
再生を開始してから5秒以上経過しているときに前のグループに戻す操作をすると、そのグループの先頭曲の頭出しになります。
グループの1曲目以外の曲の場合：
前のグループに戻す操作をすると、そのグループの先頭曲の頭出しになります。

音楽再生中に上側のホイール*を小さく回すと、操作音が鳴り、曲が変わります。大きく回すと、操作音が鳴り、音声でグループ番号（「グループ1（ワン）」など）を読み上げたあと、グループが変わります。曲の盛り上がり部分から再生が始まります。本機を置くと、その曲の頭から再生します。

* 本機を立てて持つと、上下を自動的に検知して、ホイールの機能が切り替わります。

音量を調節する

音楽再生中に時計回りに回すと音量が上がります。
反時計回りに回すと音量が下がります。

音量調節の操作をしたあとに、本機が操作前の位置まで自動的に戻ります。戻らないように設定することもできます（☞55ページ）。

音楽再生中に下側のホイール*を右に回すと音量が上がります。
左に回すと音量が下がります。

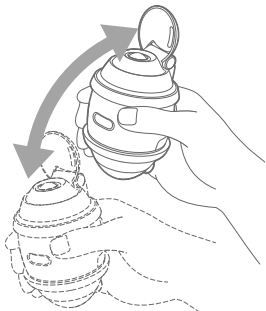
* 本機を立てて持つと、上下を自動的に検知して、ホイールの機能が切り替わります。

つづく ☞

シャッフル再生する

再生モード（ノーマル再生/シャッフル再生）を切り換えることができます。手に持った状態で操作します。

1 再生中にプレイボタンを2回続けて押す（ダブルクリック）。
サイドランプがオレンジに点灯します。

2 サイドランプがオレンジに点灯中に、本機を上下に数回振る。
操作音が鳴って、サイドランプが紫に変わり、シャッフル再生に切り替わります。
曲が変わり、本機内のすべての曲を順不同に再生します。

ノーマル再生に戻すには、再度手順1、2を行います。
操作音が鳴って、サイドランプが水色に変わり、ノーマル再生に切り替わります。

5つ先（前の）曲やグループに飛ぶ

手に持った状態で操作します。

1 再生中にプレイボタンを2回続けて押す（ダブルクリック）。
サイドランプがオレンジに点灯します。

2 サイドランプがオレンジに点灯中に、上側のホイールを回す。
小さく右（左）に回すと5つ先（前）の曲に飛びます。
大きく右（左）に回すと5つ先（前）のグループに飛びます。

ヒント

本機の起動音、操作音、グループ音声ガイドが鳴らないように設定することもできます。設定にはMotion Editorを使います（☞ 55ページ）。

ご注意

- 電源スイッチを「ON」にして約30秒間何も操作しないと、バッテリーの消耗を抑えるために自動的に省電力状態になります。プレイボタンを約2秒間押し続けても省電力状態になります。省電力状態を解除するには、プレイボタンを押します。
- 音量を最大に近い状態にして音楽を再生すると、スピーカーが振動し、本機の筐体に響くことがあります。その状態のときにアームが閉じると（モーション、手で閉じるなど）、音がこもったり、歪んだりして聞こえることがあります。

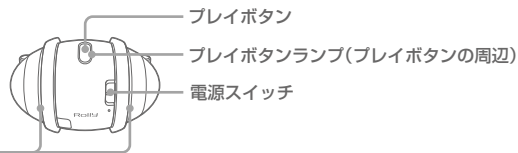
モーションを再生する

Motion Editorで作成して本機に登録したモーションを、音楽と一緒に再生できます。モーションを登録していない曲の場合は、本機が自動的に曲を解析し、モーションを作成して再生します（セルフモーション機能）。
モーション再生は、「置いて操作」のときのみ行えます。

本機のモーション再生は、安全性を考慮した仕様になっています。モーション再生中の本機の落下や、障害物との接触による本機の破損、またモーション再生中にお客様が本機から目を離した場合のことを考え、モーション再生に下記の制限を設けています。

- モーションは1曲の再生が終わると停止します。
- モーション再生中は、停止以外の操作は受け付けません。
- 再生できるモーションは1曲最長7分までです。Motion Editorで作成したモーション、セルフモーションとも7分までの再生となります。7分以上の曲の場合は、7分までモーションを再生し、7分以降は音楽のみ再生します。

ご注意

- モーションを再生するときは、周囲に障害物のない広く平らな場所で行ってください。
- モーション再生するときは、本機を次のような場所で使わないでください。故障の原因となることがあります。
  - 本機が落下する危険がある場所
  - 振動や段差がある不安定な場所
  - 滑りやすい場所や毛足の長いカーペットなど
  - 布団の上など柔らかい場所
  - 土や砂、埃などが多い場所
  - 水や油などで濡れている場所
  - 屋外

1 電源スイッチを「ON」にする。
起動音が鳴り、電源が入ります。

2 SONYロゴを手前にして置く。

3 プレイボタンを2回続けて押す（ダブルクリック）。
音楽とモーションを再生します。
再生状態によってプレイボタンランプの表示が変わります。
白：モーションが登録されている曲を再生しています。
緑：モーションが登録されていない曲を再生しています。本機が曲を解析し、自動でモーションを再生します（セルフモーション機能）。
オレンジ：バッテリーが消耗しています。モーション再生ができません。

1曲の再生が終わるとモーションは停止し、次の曲から音楽のみ再生されます。

モーションにモーション停止マークが設定されているときは、マークの位置でモーションの再生を停止して、次の曲を再生します。モーション停止マークについて詳しくは、Motion Editorのヘルプをご覧ください。

つづく ☞

再生を停止するには

こんなときは	操作方法
モーションのみ停止して、音楽の再生を続ける	本機を立てて持ち、モーションが停止したら置く。
モーションのみ停止して、音楽を曲の頭から再生する	プレイボタンを2回続けて押す（ダブルクリック）。
モーションと音楽を停止する	プレイボタンを1回押す。

ヒント

- 音楽を再生中にプレイボタンを2回続けて押して（ダブルクリック）、モーション再生に切り換えることもできます。その場合は、再生中の曲の頭に戻ってモーションを再生します。
- Motion Editorでのモーションの作成については、Motion Editorのヘルプをご覧ください。

ご注意

- モーション再生中に、アームやホイールを押さえつけたり、モーションの動作を止めるような負荷をかけると、本機のサイドランプが赤く点灯し、モーションが自動的に停止します。
- 音量を最大に近い状態にして音楽を再生すると、スピーカーが振動し、本機の筐体に響くことがあります。その状態のときにアームが閉じると（モーション、手で閉じるなど）、音がこもったり、歪んだりして聞こえることがあります。
- モーションは、本機を動作させる場所や接地面の状態によって異なります。
- 本機で再生するモーション（とくに、細かい動き、ゆっくりした動き、急発進、急停止、回転などのモーション）は、Motion Editorのプレビューエリアで再生するモーションと異なる場合があります。
- 可変ビットレートのMP3形式の音楽ファイルに登録されたモーションは、本機では正しく再生されない場合があります。

Bluetooth通信でRolly Remoteを使って本機を操作する

付属のソフトウェアRolly Remoteを使って、本機とBluetooth機能搭載のパソコンをBluetoothコントロールモードで接続すると、Rolly Remoteから本機を操作して、音楽やモーションを再生したり、本機を操縦したりすることができます。
Bluetoothコントロールモードで本機と接続するには、接続するBluetooth機能搭載のパソコンがSPPプロファイルに対応している必要があります。
Bluetooth無線技術について詳しくは、78ページをご覧ください。

1 ペアリングする（40ページへ）

2 接続する（43ページへ）

Bluetoothコントロールモードについて

本機のBluetooth接続モードには、BluetoothコントロールモードとBluetoothスピーカーモード（☞ 47ページ）の2つがあります。Bluetoothコントロールモードは、Bluetooth機能搭載のパソコンなどのBluetooth機器から本機をコントロールできるモードです。Rolly Remoteを使って本機とBluetooth機能搭載のパソコンを接続すると、本機はBluetoothコントロールモードに切り替わります。

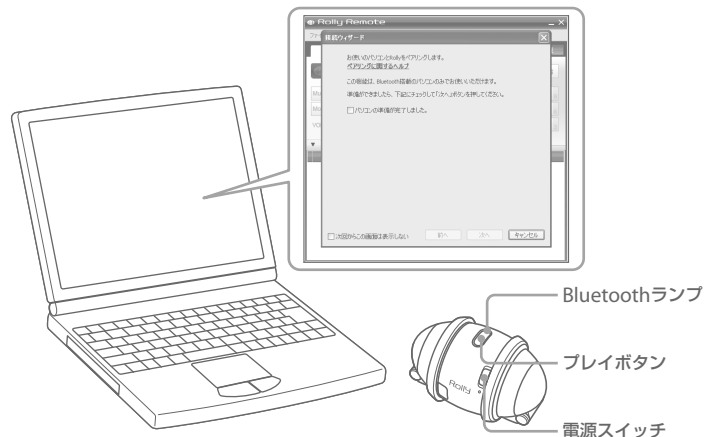
ご注意

Bluetoothコントロールモード中は、Bluetoothスピーカーモードで接続することはできません。

3 Rolly Remoteで本機を操作する（45ページへ）

ペアリングする

Bluetooth機器では、あらかじめ、接続しようとする機器を登録しておく必要があります。この登録のことをペアリングといいます。Bluetoothコントロールモードで本機とBluetooth機能搭載のパソコンを接続するには、Rolly Remoteを使って、本機とBluetooth機能搭載のパソコンをペアリングしておく必要があります。
一度ペアリングすれば、再びペアリングする必要はありませんが、以下の場合は再度ペアリングが必要です。

- 修理を行ったなど、ペアリング情報が消去されてしまったとき。
- 9台以上の機器をペアリングしたとき。本機は8台までの機器をペアリングすることができます。8台分をペアリングしたあと新たな機器をペアリングすると、8台のなかで最後に接続した日時が最も古い機器のペアリング情報が、新たな機器の情報で上書きされます。
- 接続相手の機器から、本機との接続履歴が削除されたとき。
- 本機をMotion Editorで設定初期化、またはフォーマットしたとき。すべてのペアリング情報が消去されます。

1 本機とBluetooth機能搭載のパソコンを1m以内に置く。

2 ［スタート］－［すべてのプログラム］－［Rolly Remote］－［Rolly Remote］の順に選ぶ。
Rolly Remoteが起動し、接続ウィザードが表示されます。
以降は、画面の指示に従ってペアリングを行ってください。
ペアリングの方法について詳しくは、Rolly Remoteのヘルプをご覧ください。

つづく ☞

本機をペアリング状態にするには

1 **本機とBluetooth機能搭載パソコンを1m以内に置く。**

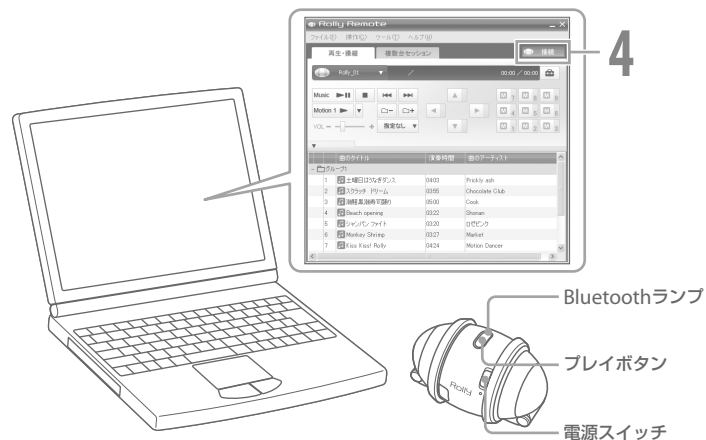
2 **本機の電源スイッチを「ᛒ」にする。**
本機の起動音が鳴り、Bluetoothランプ（☞ 11ページ）が青色に点灯します。

3 **本機のプレイボタンを約7秒以上押し続け、ペアリング処理状態にする。**
Bluetoothランプが青色に速く点滅します。

ご注意

ペアリング処理状態は、約5分で解除されます。ペアリングが完了する前に解除されてしまった場合は、もう一度手順2から行ってください。

接続する

ペアリングが完了したら、Rolly Remoteを使って本機とBluetooth機能搭載のパソコンをBluetoothコントロールモードで接続します。

1 **本機の電源スイッチを「ᛒ」にする。**
本機の起動音が鳴り、Bluetoothランプ（☞ 11ページ）が青色に点灯します。

2 **本機のプレイボタンを押す。**
本機のBluetoothランプが2秒間に1回点滅します。

つづく ☞

3 **［スタート］－［すべてのプログラム］－［Rolly Remote］－［Rolly Remote］の順に選ぶ。**

Rolly Remoteが起動します。

4 **［接続］をクリックする。**

「接続するRollyの選択」画面が表示されます。

5 **リストから本機をクリックして選び、［接続］をクリックする。**

本機のBluetoothランプが以下のように変わり、Bluetooth機能搭載のパソコンとBluetoothコントロールモードで接続されます。

2秒間に1回点滅（接続処理中）
↓
5秒間に2回点滅（接続成功）

接続が成功すると、サイドランプが白色に2回点滅し、その後ピンク色にゆっくり点滅します。
接続の方法について詳しくは、Rolly Remoteのヘルプをご覧ください。

ご注意

- Bluetoothコントロールモードで接続中は、本機では以下の操作のみ行えます。
  - プレイボタンを押して、再生を停止する（床に置いた状態でのみ有効）
  - プレイボタンを約2秒以上押して、Bluetooth接続を切断する
- 以下の場合、本機とBluetooth機能搭載のパソコンを再度接続する必要があります。
  - 本機の電源が切れている
  - Bluetooth機能搭載のパソコンの電源や、Bluetooth機能がオフになっている
  - 本機や、Bluetooth機能搭載のパソコンのBluetooth機能がスリープ状態になっている
  - Bluetooth接続が切断されている

Rolly Remoteで本機を操作する

本機とBluetooth機能搭載のパソコンをBluetoothコントロールモードで接続すると、Bluetooth機能搭載のパソコン上でRolly Remoteを使って本機を操作して以下のようなことができます。
Rolly Remoteで本機を操作する方法については、Rolly Remoteのヘルプをご覧ください。

音楽やモーションを再生する

本機内の音楽やモーションを再生できます。

本機を操縦する

本機を前後に移動、左右に回転、旋回させたり、あらかじめ用意されているモーションデータを再生させたりすることができます。

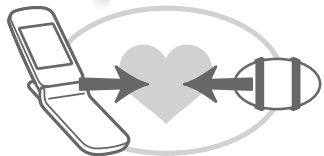
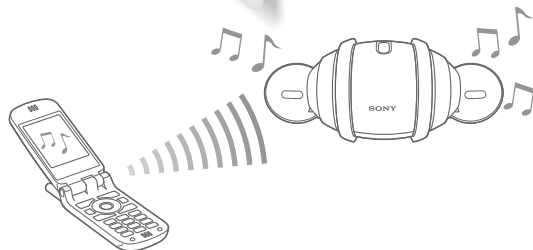
複数台で同時に音楽やモーションを再生する（セッション）

複数台の本機を接続して、同時に音楽やモーションを再生してセッションを楽しめます。

ご注意

- Rolly Remoteからの操作は、本機を床に置いた状態でのみ有効です。本機を立てて手に持つと、Rolly Remoteからの操作は無効になります。手に持った状態から床に置くと、再びRolly Remoteから操作できるようになります。
- お使いになるBluetooth機能搭載のパソコン（Bluetooth USBアダプターなど）によっては、複数台の接続ができない場合があります。

Bluetooth通信で本機をスピーカーとして使う

本機をBluetooth機能搭載の音楽プレーヤー（携帯電話やデジタル音楽プレーヤー）やパソコンとBluetoothスピーカーモードで接続すると、ワイヤレススピーカーとして、Bluetooth機器に保存されている音楽データを本機のスピーカーで楽しむことができます。
本機と接続するBluetooth機器は、A2DPプロファイルに対応している必要があります。さらに、AVRCPプロファイルにも対応していると、本機側で再生/停止などの操作ができます。
本機と接続できるBluetooth機器については、Rolly カスタマーサポート（http://www.sony.co.jp/rolly-support/）をご覧ください。
Bluetooth無線技術について詳しくは、78ページをご覧ください。

Bluetoothスピーカーモードについて

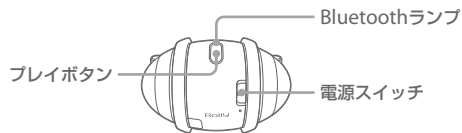
本機のBluetooth接続モードには、Bluetoothコントロールモード（☞ 39ページ）とBluetoothスピーカーモードの2つがあります。Bluetoothスピーカーモードは、Bluetooth機能搭載音楽プレーヤーに保存されている音楽データを本機のスピーカーで再生できるモードです。Bluetooth機能搭載音楽プレーヤーで本機と接続すると、本機はBluetoothスピーカーモードに切り替わります。

ご注意

本機の音楽をBluetooth対応のヘッドホンやスピーカーなどで聞くことはできません。

ペアリングする

Bluetooth機器では、あらかじめ、接続しようとする機器を登録しておく必要があります。この登録のことをペアリングといいます。Bluetoothスピーカーモードで本機とBluetooth機能搭載音楽プレーヤーを接続するには、本機とBluetooth機能搭載音楽プレーヤーをペアリングしておく必要があります。
一度ペアリングすれば、再びペアリングする必要はありませんが、以下の場合は再度ペアリングが必要です。

- 修理を行ったなど、ペアリング情報が消去されてしまったとき。
- 9台以上の機器をペアリングしたとき。本機は8台までの機器をペアリングすることができます。8台分をペアリングしたあと新たな機器をペアリングすると、8台のなかで最後に接続した日時が最も古い機器のペアリング情報が、新たな機器の情報で上書きされます。
- 接続相手の機器から、本機との接続履歴が削除されたとき。
- 本機をMotion Editorで設定初期化、またはフォーマットしたとき。すべてのペアリング情報が消去されます。

1 **本機と相手側Bluetooth機器を1m以内に置く。**

2 **本機の電源スイッチを、「ʙ」にする。**
本機の起動音が鳴り、Bluetoothランプ（☞ 11ページ）が青色に点灯します。

3 **本機のプレイボタンを約7秒以上押し続け、本機をペアリング処理状態にする。**
Bluetoothランプが青色に速く点滅します。

ご注意

ペアリング処理状態は、約5分で解除されます。手順4まで完了する前に解除されてしまった場合は、もう一度手順2から行ってください。

つづく ☞

4 **相手側Bluetooth機器でペアリング操作を行い、本機を検索する。**
ペアリング操作については、相手側Bluetooth機器に付属の取扱説明書をご覧ください。

相手側Bluetooth機器に表示画面がある場合は、下記を行ってください。

- 表示画面に検索された機器の一覧が表示された場合は、本機「SEP-50BT」を選んでください。「SEP-50BT」と表示されない場合は、もう一度手順1からやり直してください。
- 表示画面でパスキー *の入力を要求された場合は、「0000（ゼロゼロゼロゼロ）」と入力してください。

* パスキーは、パスコード、PINコード、PINナンバー、パスワードなどと呼ばれる場合があります。

ペアリングが成功すると、本機のBluetoothランプが2秒間に1回点滅し、接続待機状態になります。

ご注意

ペアリングに失敗したとき、本機のBluetoothランプが青色に速く点滅している場合は、もう一度手順4から行ってください。ランプが点灯している場合は、もう一度手順2から行ってください。

ペアリングを途中で止めるには

プレイボタンを約2秒間押し続けます。

接続する

ペアリングが完了したら、本機と相手側Bluetooth機器をBluetoothスピーカーモードで接続します。
お使いの機器によっては、ペアリングが完了すると自動的に接続を開始する場合があります。

1 **相手側Bluetooth機器のBluetooth機能を有効にし、本機との接続が可能な状態にする。**
相手側Bluetooth機器の操作については、お使いのBluetooth機器の取扱説明書をご覧ください。

2 **本機の電源スイッチを「✱」にする。**
本機の起動音が鳴り、Bluetoothランプ（☞ 11ページ）が青色に点灯します。

3 **本機のプレイボタンを押す。**
本機のBluetoothランプが以下のように変わり、相手側Bluetooth機器とBluetoothスピーカーモードで接続されます。

2秒間に1回点滅（接続処理中）
↓
5秒間に1回点滅（接続成功）

接続が成功すると、アームが一度開きます。
接続できなかったときは、相手側Bluetooth機器で接続の操作をしてください。
操作については、相手側Bluetooth機器に付属の取扱説明書をご覧ください。

つづく ☞

ご注意

以下の場合、本機と相手側Bluetooth機器を再度接続する必要があります。
- 本機の電源が切れている
- 相手側Bluetooth機器の電源や、Bluetooth機能がオフになっている
- 本機や、相手側Bluetooth機器のBluetooth機能がスリープ状態になっている
- Bluetooth接続が切断されている

音楽を聞く

本機と相手側Bluetooth機器がBluetoothスピーカーモードで接続された状態で、本機または相手側Bluetooth機器を操作すると、相手側Bluetooth機器の音楽が本機のスピーカーから聞こえます。

1 本機のプレイボタンを押す。
相手側Bluetooth機器がAVRCPプロファイルに対応していない場合は、相手側Bluetooth機器で再生操作をしてください。
相手側Bluetooth機器の音楽が再生されます。
再生中は本機のプレイボタンランプが緑色に点灯します。

2 本機で音量を調節する。
本機で音量を調節しても音量が大きくならないときは、相手側Bluetooth機器の音量を大きくしてください。

ヒント

- 相手側Bluetooth機器の音楽に合わせてモーション再生することもできます。再生中にプレイボタンを2回続けて押します（ダブルクリック）。ボタンを押したところからモーションが再生されます。
- 相手側Bluetooth機器がAVRCPプロファイルに対応し、AVRCP機能が有効になっている場合は、本機の操作で再生停止したり、曲・グループの変更ができる場合があります。詳しくは、お使いのBluetooth機器の取扱説明書をご覧ください。
- 相手側Bluetooth機器がAVRCP VOLUME UP/DOWNに対応している場合は、相手側Bluetooth機器から本機の音量を調節できます。詳しくは、お使いのBluetooth機器の取扱説明書をご覧ください。

つづく ☞

ご注意

- 本機と接続しているBluetooth機器に、本機以外の機器がBluetooth接続されている場合、Bluetooth機器の音楽を本機で再生すると、音が途切れることがあります。その場合には、Bluetooth機器と接続されている他の機器のBluetooth接続を切断してください。
- 相手側Bluetooth機器で動画を再生した場合、Bluetooth機能の性能上、音声が遅れて再生されることがあります。
- 音量を最大に近い状態にして音楽を再生すると、スピーカーが振動し、本機の筐体に響くことがあります。その状態のときにアームが閉じると（モーション、手で閉じるなど）になると、音がこもったり、歪んだりして聞こえることがあります。

Motion Editorで本機の設定を変更する

付属のソフトウェアMotion Editorの［ツール］メニューを使って、本機の動作の設定や初期化ができます。設定方法について詳しくは、Motion Editorのヘルプをご覧ください。

設定項目		設定内容
Rollyの設定	起動音	電源を入れたときの起動音とそれに伴うアーム動作を設定します。お買い上げ時は、音が鳴るように（有効）設定されています。また、日付を指定して、イベント用の起動音を選んで設定することもできます。お買い上げ時は、あらかじめ2つのイベント起動音が設定されています。 ご注意 イベント起動音再生中は、プレイボタンによる操作やボリューム調節はできません。起動音再生後に操作してください。
	操作音	下記の2つの音を鳴らす/鳴らさないを設定します。お買い上げ時は、音が鳴るように（有効）設定されています。 •「操作音の設定」：曲送り・戻し、グループ送り・戻し、再生モードの切り換え操作時の操作音 •「グループ音声ガイドの設定」：グループが変わったことを知らせるグループ音声ガイド
	音量操作	「置いて操作」時に音量を調節したあと、操作前の位置まで本機が自動的に戻る/戻らないを設定します。お買い上げ時は、戻るように設定されています。

つづく ☞

設定項目		設定内容
Rollyの設定	Bluetooth通信	Bluetooth通信時に音質を優先するか、通信の安定を優先するかを設定します。お買い上げ時は、通信の安定が優先に設定されています。 また、本機と接続するBluetooth機器のSCMS-T方式のコンテンツ保護の受信設定もできます。本機と接続するBluetooth機器の音楽がSCMS-T方式のコンテンツ保護に対応していない場合は、SCMS-T方式のコンテンツ保護を無効にしてください。
	ウェイクアップタイマー	指定した時刻に本機を自動的に起動して、指定した音楽を再生するように設定します。設定を有効にしておくと、毎日指定した時刻に音楽を再生します。
	機器情報	本機のバージョン情報と本体容量（使用容量、空き容量）を確認できます。
Rollyの設定初期化		本機の設定をお買い上げ時の状態に戻します。お買い上げ時の状態に戻しても、保存している曲やモーションは消去されません。
Rollyのフォーマット		本機に内蔵のフラッシュメモリーをフォーマット（初期化）します。フォーマットすると、保存している曲やモーションがすべて消去されます。フォーマットする前に内容を確認し、必要な曲はSonicStage Vに、必要なモーションはMotion Editorに取り込んでください。 ご注意 Windowsエクスプローラを使って本機の内蔵フラッシュメモリーをフォーマット（初期化）しないでください。本機がパソコンに認識されなくなります。フォーマットするときは、必ずMotion Editorの「Rollyのフォーマット」で行ってください。

ウェイクアップタイマーを使うときは

ウェイクアップタイマーの設定を有効にしたときは、本機からUSBケーブルをはずし、本機の電源スイッチを「ON」にしておいてください。指定した時刻に本機で音楽を再生している場合は、ウェイクアップタイマーは働きません。
ウェイクアップタイマーの設定が有効になっているかどうかを本機で確認するには、電源スイッチを「ON」にしてプレイボタンを約2秒間押し続けます。有効になっているときは、プレイボタンランプが緑に3回点滅します。

ヒント

本機をパソコンにつないだ状態で、SonicStage VまたはMotion Editorを起動していると、本機の時計機能はパソコンの時計と同期します。

ご注意

- ウェイクアップタイマーの再生曲は、Rolly内の何番目の曲かで認識されています。そのため、Rolly内の曲を削除したり、順番を入れ替えたりすると、再生される曲が変わります。
- Motion EditorのRolly画面で、指定した再生曲を確認できます。再生曲は、曲のタイトル欄にオレンジの時計マークがついています。
- ウェイクアップタイマーではモーションは再生しません。

本機の設定初期化、フォーマットをするときは

本機のバッテリーが満充電の状態でないと、本機の設定初期化、フォーマットはできません。充電してから行ってください。

故障かな？と思ったら

本機をご使用中にトラブルが発生した場合は、ソニーの相談窓口にご相談になる前に、以下の手順に従ってチェックしてみてください。

1「故障かな？と思ったら」の各項目で調べる。

2 クリップなどの細い棒で、リセットボタンを押す。
リセットボタンを押しても、本機に保存している曲とモーションは消去されませんが、再生時の設定（音量、停止位置、ノーマル/シャッフル再生）はお買い上げ時の状態に戻ります。

3 SonicStage VやMotion Editor、Rolly Remoteを使用しているときは、ソフトウエアのヘルプで調べる。

4「Rolly カスタマーサポート」のホームページで調べる。
http://www.sony.co.jp/rolly-support/

5 手順1 ～ 4を確認しても問題が解決しないときは、ソニーの相談窓口（☞ 83ページ）に相談する。

音楽/モーション再生

症状	原因/対処
ボタン操作に反応しない。	• 結露している。 →そのまま約2、3時間おいてください。 • バッテリーの残量が少ない、または消耗している。 →充分に充電してください（☞ 14ページ）。 →充電しても反応しない場合は、リセットボタンを押して本機をリセットしてください（☞ 上記）。 →バッテリーの抜き挿しをしてください。
プレイボタンを押しても再生が始まらない。	• 電源スイッチが「OFF」になっている。 →電源スイッチを「ON」にしてください。
音が出ない。	• 音量設定が最小になっている可能性があります。音量を調節してください（☞ 31ページ）。
雑音が入る。	• 近くで携帯電話などの電波を発する機器を使用している。 →携帯電話などを本機から離して使用してください。
モーションを再生できない。	• バッテリーの残量が少ない。 →充分に充電してください（☞ 14ページ）。 • 動きのないモーションが登録されている。 →Motion Editorでモーションを確認してください。 • プレイボタンを正しく押していない。 →プレイボタンを2回続けて押します（ダブルクリック）。
サイドランプが赤く点灯し、聞きたい曲を再生せずに次の曲を再生する。	• 曲やモーションのファイルが壊れている。
サイドランプが赤く点灯し、モーションを再生できない。	• 可動部（アーム、ホイール）が何かを挟み込んだり、ぶつかったりしている。 →可動部を障害のない状態にし、サイドランプの赤の点灯が消えたら、プレイボタンを2回続けて押すと（ダブルクリック）、モーションを再生します。 • 曲やモーションのファイルが壊れている。
プレイボタンランプが点滅し、音楽再生が自動的に停止した。	• 本機の温度が高くなりすぎたため、省電力状態になった。 →本機の温度が高くなりすぎると、再生を自動的に停止し、省電力状態になります。
曲の途中でモーション再生が停止する。	• Motion Editorでモーションにモーション停止マークを設定している場合は、モーション停止位置で再生を停止し、次の曲を再生します。

つづく ☞

症状	原因/対処
プレイボタンランプが点滅し、モーション再生が自動的に停止した。	• 本機の温度が高くなりすぎるとモーションの再生を自動的に停止し、音楽だけの再生になります。
左右のショルダー位置がずれている。	• 本機を使用した環境によっては、左右のショルダー位置がずれる場合があります。対処方法は、Rolly カスタマーサポート（http://www.sony.co.jp/rolly-support/）でご確認ください。
本機が熱くなる。	• 本機使用中に本機が熱くなることがありますが、故障ではありません。
Motion Editorで作ったとおりにモーションやサイドランプが再生されない。	• 本機の仕様により、Motion Editorで作ったとおりに再生できない場合があります。
バッテリーの充電残量が充分にあるのに再生できない。	• バッテリーが劣化している。 ➔新しいバッテリーと交換してください。バッテリーの交換については、ソニーの修理相談窓口にご相談ください。

充電

症状	原因/対処
バッテリーの持続時間が短い。	• +5℃以下の環境で使用している。 ➔バッテリーの特性によるもので故障ではありません。 • 充電時間が足りない。 ➔充分に充電してください。 • 本機を長期間使用していなかった。 ➔何回か充放電を行うと、バッテリー性能が回復します。 • バッテリーの寿命の可能性がある。 ➔新しいバッテリーと交換してください。バッテリーの交換については、ソニーの修理相談窓口にご相談ください。
充電できない。	• USBケーブルがきちんとパソコンのUSBコネクタに接続されていない。 ➔USBケーブルをいったん抜いて、接続し直してください。 ➔付属のUSBケーブルを使用してください。
充電を始めてもプレイボタンランプがオレンジに点灯しない。	• バッテリーを使い切った状態のときに、または長い間使わなかったときは、充電を始めても数分間ランプがオレンジに点灯しないことがあります。数分間すると、ランプがオレンジに点灯し充電が始まります。

パソコンとの接続/SonicStage V/Motion Editor/Rolly Remote

症状	原因/対処
インストールしようとするとパソコンにエラーメッセージが表示される。	• お使いのパソコンで本機を使用できるか、必要なパソコンのシステム（☞ 21ページ）をお確かめください。
付属のCD-ROMを入れてもインストーラが自動的に起動しない。	• お使いのパソコンの設定によっては、CD-ROMを入れてもインストーラが起動しない場合があります。そのような場合は、WindowsエクスプローラーでCD-ROMドライブを右クリックして開き、SetupSS.exe をダブルクリックして実行してください。インストール時のメインメニューが表示されます。
SonicStage VまたはMotion Editor、Rolly Remoteをインストールできない。	• 「Rolly カスタマーサポート」のホームページで調べてください。 http://www.sony.co.jp/rolly-support/

つづく ☞

症状	原因/対処
本機がパソコンで認識されない。	• USBケーブルがきちんとパソコンのUSBコネクタに接続されていない。 →USBケーブルの両側をいったん抜いて、接続し直してください。 • お使いのパソコンの別のUSBコネクタに接続してみてください。 • 本機にバッテリーが入っていない。 →バッテリーを入れてください。
Motion Editorで本機の情報が表示されない。	• SonicStage Vが起動中は本機の情報が表示されません。 →SonicStage Vを終了してください。
SonicStage Vで一部の機能が制限される。	• SonicStage Vをお使いになるときは、Administrator権限、またはコンピューターの管理者でログオンしてください。
パソコンから転送したデータを再生できない。	• 曲を転送する場合は、付属のSonicStage Vから行ってください。SonicStage Vを使用しないで転送した曲は、本機では再生できません。

Bluetooth通信

症状	原因/対処
接続したBluetooth機器の音が聞こえない。	• 相手側Bluetooth機器で消音（ミューティング）に設定されている。 →相手側Bluetooth機器の音量を上げてください。 • 本機の音量設定が最小になっている可能性があります。音量を調節してください。
雑音が入る。	• Bluetooth接続した環境によっては、雑音が入ることがあります。再度、接続し直してみてください。

症状	原因/対処
ペアリングできない。	• 本機と相手側Bluetooth機器が離れている。 →本機と相手側Bluetooth機器をなるべく近づけてから操作してください。 • 相手側Bluetooth機器がA2DPプロファイルに対応しているか、相手側機器の取扱説明書などで確認してください。
音が途切れる。	• 本機と相手側Bluetooth機器の間に障害物（金属、人体、壁など）がある。 →障害物を避けるか取り除いてください。 • 無線LANや他のBluetooth機器、電子レンジを使用している場所など、電磁波を発生する機器がある場合は、その機器から離れてご使用ください。 • 本機と接続しているBluetooth機器に、本機以外の機器がBluetooth接続されている場合、Bluetooth機器の音楽を本機で再生すると、音が途切れることがあります。その場合には、Bluetooth機器と接続されている他の機器のBluetooth接続を切断してください。
接続できない。	• SCMS-T方式に対応していない機器と接続しようとしている。 →Motion Editorで［ツール］メニューの［Rolly設定］－［Bluetooth通信］－［著作権保護］－［著作権保護］で「SCMS-T方式のコンテンツ保護を無効にする」にチェックを入れる。

保証書とアフターサービス

保証書

- この製品には保証書が添付されていますので、お買い上げの際お買い上げ店でお受け取りください。
- 所定事項の記入および記載内容をお確かめのうえ、大切に保管してください。
- 保証期間は、お買い上げ日より1年間です。

アフターサービス

調子が悪いときはまずチェックを

この取扱説明書をもう一度ご覧になってお調べください。

それでも具合の悪いときはサービスへ

ソニーの相談窓口やお買い上げ店、または添付の「ソニーご相談窓口のご案内」にあるお近くのソニーサービス窓口にご相談ください。

保証期間中の修理は

保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。詳しくは保証書をご覧ください。

保証期間経過後の修理は

修理によって機能が維持できる場合は、ご要望により有料修理させていただきます。

部品の保有期間について

当社では、サウンドエンターテインメントプレーヤー Rollyの補修用性能部品(製品の機能を維持するために必要な部品)を、製造打ち切り後6年間保有しています。この部品保有期間を修理可能な期間とさせていただきます。保有期間が経過した後も、故障箇所によっては修理可能の場合がありますので、ソニーの相談窓口にご相談ください。

製造時期について

製造時期は、バッテリーふたの内側に記載しています。

ファームウェアをアップデートする

本機は、最新のファームウェアをインストールすることで、新しい機能の追加などを行えます。最新のファームウェアおよび更新の方法について詳しくは、「Rolly カスタマーサポート」のホームページでご案内しておりますのでご確認ください。
http://www.sony.co.jp/rolly-support/

1 **「Rolly カスタマーサポート」のホームページから、アップデートプログラムをダウンロードする。**

2 **本機をパソコンに接続し、アップデートプログラムを起動する。**

3 **アップデートプログラムのメッセージに従ってアップデートを行う。**
これでファームウェアのアップデートは完了です。

安全のために

ソニー製品は安全に充分配慮して設計されています。
しかし、電気製品はすべて、まちがった使いかたをすると、火災や感電などにより人身事故になることがあり危険です。事故を防ぐために注意事項を必ずお守りください。

安全のための注意事項を守る

66 ～ 71ページの注意事項をお読みください。製品全般の注意事項が記載されています。

定期的に点検する

1年に一度は、ほこりがたまっていないか、故障したまま使用していないか、などを点検してください。

故障したら使わない

動作がおかしくなったり、本体などが破損しているのに気づいたら、すぐにお買い上げ店またはソニーの相談窓口に修理をご依頼ください。

万一、異常が起きたら

変な音・においがしたら、煙が出たら、液漏れしたら

❶ パソコンと接続している場合は、USBケーブルを抜く。
❷ お買い上げ店またはソニーの相談窓口に修理を依頼する。

警告表示の意味
取扱説明書および製品では、次のような表示をしています。表示の内容をよく理解してから本文をお読みください。

⚠危険　この表示の注意事項を守らないと、火災・感電・破裂などにより死亡や大けがなどの人身事故が生じます。

注意を促す記号

火災

感電

破裂

⚠警告　この表示の注意事項を守らないと、火災・感電などにより死亡や大けがなど人身事故の原因となります。

行為を禁止する記号

禁止　接触禁止

分解禁止

ぬれ手禁止

⚠注意　この表示の注意事項を守らないと、感電やその他の事故によりけがをしたり周辺の家財に損害を与えたりすることがあります。

行為を指示する記号

指示

注意

その他

つづく ☞

⚠危険 下記の注意事項を守らないと、火災・感電・発熱・発火などにより死亡や大けがなどの人身事故が生じます。

火災　感電

分解しない。

感電の原因になります。内部の点検および修理はお買い上げ店またはソニーの相談窓口にご依頼ください。

分解禁止

火の中に入れない。

禁止

火のそばや炎天下などで充電したり、放置しない。

禁止

⚠警告 下記の注意事項を守らないと、火災・発熱・発火・感電などによりやけどや大けがなどの人身事故が生じます。

火災　感電

内部に水や異物を入れない。

水や異物が入ると火災や感電の原因になります。万一、水や異物が入ったときは、すぐに電源を切り、バッテリーを取り出してください。その後、お買い上げ店またはソニーの相談窓口にご相談ください。

禁止

運転中は使用しない。

自動車、オートバイ、自転車などの運転をしながら細かい操作をすることは絶対におやめください。交通事故の原因になります。

禁止

屋外では使用しない。

禁止

油煙、湯気、湿気、ほこりの多い場所では使用しない

上記のような場所で使うと、火災や感電の原因となります。特に風呂場などでは絶対に使わないでください。

禁止

金属類と一緒に本機を携帯・保管しない。

コイン、キー、ネックレスなどの金属類と一緒に携帯・保管すると、ショートし、発熱することがあります。

禁止

⚠注意 下記の注意事項を守らないと、けがをしたり周辺の家財に損害を与えたりすることがあります。

不安定な場所では使用しない。

落下する危険性のある場所や、ぐらついた台の上、傾いたところなどに置かないでください。落ちたり、倒れたりしてけがや故障の原因となることがあります。

禁止

本機を医療機器の近くで使わない。

電波が心臓ペースメーカーや医療用電気機器に影響を与えるおそれがあります。満員電車などの混雑した場所や医療機関の屋内では使わないでください。

禁止

本機を心臓ペースメーカーの装着部位から22cm以上離す。

電波によりペースメーカーの動作に影響を与えるおそれがあります。

注意

つづく ☞

本機のまわりには、壊れやすいもの、危険なものを置かない。

指示

本機はダンスをする（モーション）ので、お客様の所有物を破損させたり、思わぬ事故の原因となることがあります。

幼児の手の届かない場所で使用する。

指示

手を挟まれたり、はずれた部品などを飲み込むなど、思わぬ事故の原因となります。小さなお子様が使用する場合には、本製品の取扱い方法を理解した大人の監視、指導のもとで行うようにしてください。

バッテリーについての安全上のご注意

液漏れ・破裂・発熱・発火・誤飲による大けがや失明を避けるため、下記のことを必ずお守りください。

⚠危険　バッテリーが液漏れしたときは

- すぐに火気より遠ざけてください。漏れた液や気体に引火して発火、破裂の恐れがあります。
- 素手で液を触らないでください。液が機器内部に残ることがあるため、ソニーの相談窓口にご相談ください。
- 液が目に入ったときは、失明の原因になることがあるので目をこすらず、すぐに水道水などのきれいな水で充分洗い、ただちに医師の治療をうけてください。
- 液を口に入れたり、なめた場合、すぐに水道水で口を洗浄し医師に相談してください。
- 液が身体や衣服についたときも、やけどやけがの原因になるので、すぐにきれいな水で洗い流し、皮膚に炎症やけがの症状があるときには医師に相談してください。

⚠危険

火災　破裂　感電

下記の事項を守らないと破裂・発火・発熱により死亡や大けがになることがあります。

- 火の中に入れない。
- 端子間をショート（短絡）させたり、分解しない。
- 電子レンジへの投入はしない。
- コインやネックレス、ヘアピンなどの金属類と一緒に携帯、保管すると端子間がショート（短絡）することがあります。
- 火のそばや炎天下、高温になった車中に保管したり使用したり充電したりしない。

⚠警告

火災　破裂　感電

下記の事項を守らないと破裂・発熱・液漏れにより死亡や大けがなどの人身事故になることがあります。

- ハンマーでたたくなどの強い衝撃を与えたり、踏みつけたりしない。
- 乳幼児の手の届かない所に置き、口に入れないよう注意する。
- 万一飲み込んだ場合は、ただちに吐き出させるよう処置し医師に相談すること。
- バッテリー使用中や充電、保管時に異臭がしたり、発熱、液漏れ、変形などがあったときは、すぐに使用や充電をやめる。
- 水、海水、清涼飲料水、酒類などの液体で濡れたバッテリーを充電したり、使用したりしない。

⚠注意

破裂　感電

下記の事項を守らないと破裂・発熱・液漏れにより感電や周辺の家財に損害を与えることがあります。

- このバッテリーを対応機種以外には使用しない。

お願い

使用済み充電式電池は貴重な資源です。充電式電池リサイクル協力店にご持参ください。

使用上のご注意

本機を使う場所について

- 本機の動作温度は+5℃～＋35℃です。動作範囲を超える極端に寒い場所や暑い場所での使用はお勧めできません。
- 落下する危険性のある場所や振動する場所、段差がある場所など、不安定な場所では使用しないでください。
- コンクリートなどの硬い床の上では使用しないでください。本機に傷がついたり不具合の原因となることがあります。
- 滑りやすい床や毛足の長いカーペット、埃や髪の毛などを巻き込む可能性のある場所などの上では使用しないでください。本機のホイールがカーペットなどをはさみ込みやすく、故障の原因となるほか、修理できなくなることがあります。
- その他、以下のような場所で使わないでください。故障の原因となることがあります。
  – 布団の上など柔らかい場所
  – 土や砂、埃などが多い場所
  – 水や油などで濡れている場所
  – 屋外

モーション再生する際は、本機が落下する危険のない、周囲に障害物のない、また幼児の手の届かない場所でお使いください。落下や障害物、幼児との接触により、本機あるいは周囲の家財が破損したことによる一切の責任を弊社は負いかねますので、ご了承ください。

本機の取り扱いについて

- 手足などで、力を加えないでください。
- 衝撃を加えたり、落としたりしないでください。記録されたデータが消失したり、故障の原因となります。
- 充電端子は直接手で触れないでください。接触が悪くなります。
- アームを持って持ち上げたり、振りまわす・ねじるなどしないでください。
- 炎天下や窓を閉めきった自動車内など、異常な高温になる場所、風呂場など湿気の多いところには置かないでください。
- 本機の動きを妨げるような、無理な力を加えないでください。
- 可動部（アームやホイール）に油をささないでください。
- 可動部にシールを貼ったり、リボンなどを巻いたり、ものを挟んだりして動きを制限しないでください。
- 本機を持ち運ぶ際は、アームなどに負担がかからないように、別売りのRolly専用ソフトキャリングケースや出荷時の梱包材のような衝撃吸収性のある箱などをご使用ください。
- スピーカーを指などで直接触らないでください。故障の原因となります。
- 旅行などで長時間使用しないときは、本機からバッテリーを抜いてください。
- 強い電磁波やX線（磁石、スピーカーボックス、テレビなど、磁気を帯びたものの近く）などを受けるところでは使用しないでください。
- バッテリーは、付属のバッテリー、またはRolly専用バッテリーをお使いください。それ以外のバッテリーは使わないでください。

結露について

結露とは、本機を寒い場所から急に暖かい場所に持ち込んだときなどに、表面や内部に水滴がつくことです。そのままご使用になると、故障の原因となります。結露が起きたときは、電源を入れずに約2、3時間放置してください。

バッテリーの取り扱いについて

- 温度が+60℃以上になる所に放置しないでください。性能劣化や故障の原因になることがあります。
- 本機が熱くなっているときは、バッテリーも熱くなっているのでご注意ください。
- 端子部分にゴミなどの異物が入らないようにご注意ください。
- 長期間使わない場合は、バッテリーを本体から取りはずしてください。バッテリーの性能を保つために0℃～ +30℃の乾燥したところで保管してください。

つづく ☞

- バッテリーは使わずに保存しておいても自然に放電しますので、ご使用前に改めて充電することをおすすめします。
- 落としたり重い物をのせたりしないでください。バッテリーパックに強いショックを与えたり、圧力をかけたりしないでください。
- バッテリーには寿命があります。使用回数を重ねたり、時間が経過するにつれバッテリーの容量は少しずつ低下します。使用できる時間が大幅に短くなった場合は、寿命と思われますのでバッテリーを交換してください。寿命は、保管方法、使用状況や環境によって異なります。バッテリーの交換については、ソニーの修理相談窓口にご相談ください。

USB接続時の取り扱いについて

- Windowsエクスプローラを使って本機の内蔵フラッシュメモリーを操作しないでください。

付属のソフトウェアについて

- 権利者の許諾を得ることなく、本機に付属のソフトウェアおよび取扱説明書の内容の全部または一部を複製すること、およびソフトウェアを賃貸することは、著作権法上禁止されております。
- 本機に付属のソフトウェアを使用したことによって生じた金銭上の損害、逸失利益、および第三者からのいかなる請求等につきましても、当社は一切その責任を負いかねます。
- 万一、製造上の原因による不良がありましたらお取り替えいたします。それ以外の責はご容赦ください。
- 本機に付属のソフトウェアは、指定された装置以外には使用できません。
- 本機に付属のソフトウェアの仕様は、改良のため予告なく変更することがありますが、ご了承ください。
- 本機に付属していないソフトウェアを使用した際の動作は保証しておりません。
- 本機に付属のソフトウェア上で表示できる言語は、パソコンにインストールされているOSによって異なります。お使いのパソコンのOSが、表示したい言語に対応しているかどうかをご確認ください。
  – 言語によっては、このソフトウェア上で正しく表示できない場合があります。
  – ユーザー定義の文字や特殊な記号は表示されない場合があります。

サンプルの曲とモーションについて

- 本機は、試聴・体験用のサンプルの曲とモーションをあらかじめインストールしています。
- サンプルの曲とモーションを削除する場合は、SonicStage V上で行ってください。モーションだけを削除したい場合は、Motion Editor上で行ってください。
- 一度削除したサンプルの曲とモーションは元に戻せません。また、新たにサンプルの曲とモーションの提供はいたしませんので、ご了承ください。

- あなたが録音したものは、個人として楽しむなどのほかは、著作権法上、権利者に無断では使用できません。
- 本製品およびパソコンの不具合により、録音やダウンロードができなかった場合、および音楽データが破損または消去された場合、データの内容の補償については、ご容赦ください。

お手入れ

- 柔らかい布（市販のめがね拭きなど）で拭いてください。
- 汚れがひどいときは、薄い中性洗剤溶液をしめらせた布で拭いてください。
- シンナー、ベンジン、アルコールなどは表面の仕上げを傷めますので使わないでください。
- 内部に水が入らないようにご注意ください。

電池のリサイクルについて（日本国内向け）

リチウムイオン電池はリサイクルできます。
不要になったリチウムイオン電池は、金属部にセロハンテープなどの絶縁テープを貼ってリサイクル協力店へお持ちください。
充電式電池の回収・リサイクル及びリサイクル協力店については、有限責任中間法人JBRCホームページ
http://www.jbrc.net/hp/contents/index.html
を参照してください。

本機

動作温度：+5 ℃ ～ +35 ℃

電源

– リチウムイオンバッテリー使用
– USB電源（付属のUSBケーブルを接続して、パソコンから供給）

バッテリー持続時間：（☞ 17ページ）

スピーカー：直径 約20 mm

最大出力：1.2 W + 1.2 W（満充電時）

インターフェース

– USB端子：miniB
– Hispeed USB（USB2.0準拠）

本体寸法：
約104 × 65 × 65 mm（幅／高さ／奥行き）（突起部除く）

質量：約300 g（バッテリー含む）

容量（ユーザー使用可能領域）*
2 GB（約1.89GB = 2,035,974,144 バイト）

* 本機では、メモリーの一部をデータ管理領域として使用しているため、ユーザー使用可能領域は一般的な容量表示とは異なります。

記録できる最大曲数と時間の目安*

音楽データのみ

ビットレート	曲数	時間
48 kbps	1350曲	約90時間
64 kbps	1000曲	約66時間40分
132 kbps	495曲	約33時間
256 kbps	255曲	約17時間
352 kbps	185曲	約12時間20分
1,411kbps（リニアPCM）	47曲	約3時間

音楽データとモーションデータ

ビットレート	曲数	時間
48 kbps	1050曲	約70時間
64 kbps	835曲	約55時間40分
132 kbps	450曲	約30時間
256 kbps	245曲	約16時間20分
352 kbps	180曲	約12時間
1,411kbps（リニアPCM）	46曲	約3時間

* 音楽は1曲4分のATRAC形式の曲およびリニアPCM形式の曲、モーションは1曲4分のソニー基準のモーション（セルフモーション相当）で計算しています。他の音楽ファイル形式やモーションでは、増減する可能性があります。

再生できるファイルの種類（対応ビットレートとサンプリング周波数*1）

– MP3（MPEG-1 Audio Layer-3）：32 ～ 320 kbps、可変ビットレート（VBR）対応、32、44.1、48 kHz
– ATRAC（Adaptive Transform Acoustic Coding）：48 ～ 352 kbps（66*2、105*2、132kbpsはATRAC3）、44.1 kHz
– AAC-LC*3（Advanced Audio Coding Low Complexity）：16 ～ 320 kbps、可変ビットレート（VBR）対応*4、11.025、12、16、22.05、24、32、44.1、48 kHz
– リニアPCM：1,411 kbps、44.1kHz

*1 すべてのエンコーダーに対応しているわけではありません。
*2 SonicStage Vでは、ATRAC3 66/105 kbpsのCD録音はできません。
*3 著作権保護されたAACファイルは再生できません。
*4 サンプリング周波数によっては、規格外および保証外の数値も含みます。

Bluetooth概要

通信方式：Bluetooth 標準規格 Ver. 2.0準拠

出力：Bluetooth標準規格 Power Class2

使用周波数帯域：
2.4 GHz 帯（2.4000 GHz ～ 2.4835 GHz）

最大通信距離：約10 m

対応Bluetoothプロファイル

– SPP（Serial Port Profile）
– A2DP（Advanced Audio Distribution Profile）
– AVRCP（Audio Video Remote Control Profile）

対応コーデック

– SBC（Subband Codec）
– MP3

バッテリー

使用電池：リチウムイオン蓄電池

最大電圧：DC 4.2 V

公称電圧：DC 3.7 V

容量：5.8Wh/（1,560 mAh）

使用温度：
+5 ℃～ +35 ℃（充電温度：＋10 ℃～＋30 ℃）

最大外形寸法：
22.2 × 26.8 × 44.7 mm（縦／横／高さ）

本機の仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがありますが、ご了承ください。

別売りアクセサリー

– Rolly充電専用クレードル　CDL-SE10
– Rolly専用ソフトキャリングケース　CKR-SE10

Bluetooth無線技術とは

Bluetooth無線技術は、パソコンやデジタルカメラなどのデジタル機器同士で通信を行うための近距離無線技術です。およそ10m程度までの距離で通信を行うことが出来ます。無線技術なのでUSBのように機器同士をケーブルでつなぐ必要はなく、また、赤外線技術のように機器同士を向かい合わせたりする必要もありません。例えば片方の機器をバッグやポケットに入れて使うこともできます。
Bluetooth規格は世界中の数千社の会社が賛同している世界標準規格であり、世界中のさまざまなメーカーの製品で採用されています。

Bluetooth機能の対応バージョンとプロファイル

プロファイルとは、Bluetooth機器の特性ごとに機能を標準化したものです。本機は下記のBluetoothバージョンとプロファイルに対応しています。

- 対応Bluetoothバージョン：Bluetooth標準規格Ver.2.0準拠
- 対応Bluetoothプロファイル：
  - SPP（Serial Port Profile）：
    双方向のデータ通信でパソコンからRolly Remoteで本機を操作する
  - A2DP（Advanced Audio Distribution Profile）：
    本機で相手側Bluetooth機器の音楽を聞く
  - AVRCP（Audio Video Remote Control Profile）：
    本機で相手側Bluetooth機器を操作する（再生、停止、音量調節など）

通信有効範囲

見通し距離で約10m以内で使用してください。
以下の状況においては、通信有効範囲が短くなることがあります。

- Bluetooth接続している機器の間に、人体や金属、壁などの障害物がある場合
- 無線LANが構築されている場所
- 電子レンジを使用中の周辺
- その他の電磁波が発生している場所

他機器からの影響

Bluetooth機器と無線LAN（IEEE802.11b/g）は同一周波数帯（2.4GHz）を使用するため、無線LANを搭載した機器の近辺で使用すると、電波干渉が発生し、通信速度の低下、雑音や接続不能の原因になる場合があります。この場合、次の対策を行ってください。

- 本機とBluetooth機器を接続するときは、無線LANから10m以上離れたところで行う。
- 10m以内で使用する場合は、無線LANの電源を切る。

他機器への影響

Bluetooth機器が発生する電波は、電子医療機器などの動作に影響を与える可能性があります。場合によっては事故を発生させる原因になりますので、次の場所では本機およびBluetooth機器の電源を切ってください。

- 病院内/電車内/航空機内/ガソリンスタンドなど引火性ガスの発生する場所
- 自動ドアや火災報知機の近く

つづく ☞

ご注意

- 本機は、Bluetooth無線技術を使用した通信時のセキュリティとして、Bluetooth標準規格に準拠したセキュリティ機能に対応しておりますが、設定内容等によってセキュリティが充分でない場合があります。Bluetooth無線通信を行う際はご注意ください。
- Bluetooth技術を使用した通信時に情報の漏洩が発生しましても、弊社としては一切の責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。
- 本機と同じプロファイルを持つすべてのBluetooth機器とのBluetooth通信を保証するものではありません。
- 本機と接続するBluetooth機器は、Bluetooth SIGの定めるBluetooth標準規格に適合し、認証を取得している必要があります。ただし、Bluetooth標準規格に適合していても、Bluetooth機器の特性や仕様によっては、接続できない、操作方法や表示・動作が異なるなどの現象が発生する場合があります。
- 本機と接続するBluetooth機器や通信環境、周囲の状況によっては、雑音が入ったり、音が途切れたりすることがあります。

商標について

- "Rolly"、"Rolly" ロゴは、ソニー株式会社の商標です。
- SonicStageおよびそのロゴはソニー株式会社の登録商標です。
- OpenMG、ATRAC、ATRAC3、ATRAC3plus、ATRAC Advanced Losslessおよびそれぞれのロゴはソニー株式会社の商標です。
- MicrosoftおよびWindows、Windows Media、Windows Vistaは、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標、または商標です。
- Bluetoothワードマークとロゴは、Bluetooth SIG, Inc. の所有であり、ソニー株式会社はライセンスに基づきこのマークを使用しています。 他のトレードマークおよびトレード名称については、個々の所有者に帰属するものとします。
- 本機はFraunhofer IISおよびThomsonのMPEG Layer-3オーディオコーディング技術と特許に基づく許諾製品です。
- IBMおよびPC/ATは米国International Business Machines Corporationの登録商標です。
- MacintoshはApple, Inc.の商標です。
- PentiumはIntel Corporationの商標または登録商標です。
- 本機はドルビーラボラトリーズの米国及び外国特許に基づく許諾製品です。
- その他のシステム名、製品名は、一般的に各開発メーカーの商標あるいは登録商標です。なお、本文中では™、®マークは明記していません。
- This product is protected by certain intellectual property rights of Microsoft Corporation. Use or distribution of such technology outside of this product is prohibited without a license from Microsoft or an authorized Microsoft subsidiary.

索引

お問い合わせ窓口のご案内

本機についてご不明な点や、**技術的なご質問、故障と思われるときのご相談**については、下記のお問い合わせ先をご利用ください。

- **ホームページで調べるには⇨Rolly カスタマーサポートへ**
（http://www.sony.co.jp/rolly-support/）
Rollyに関する最新サポート情報や、その他よくあるお問い合わせとその回答をご案内しています。
※本機へ曲を転送できる機器との接続に関する詳細情報につきましても上記ホームページをご確認ください。
- **電話・FAXでのお問い合わせは⇨ ソニーの相談窓口へ（下記電話・FAX番号）**
お問い合わせの際は、次のことをお知らせください。
◆セット本体に関するご質問時：
  - 型名：SEP-50BT
  - 製造（シリアル）番号：本体バッテリーボックス内に記載
  - ご相談内容：できるだけ詳しく
  - お買い上げ年月日

◆付属のソフトウェアに関連するご質問時：
質問の内容によっては、お客様のシステム環境についてご質問させていただく場合があります。上記内容に加えて、システム環境を事前にわかる範囲でご確認いただき、お知らせください。

よくあるお問い合わせ、解決方法などはホームページをご活用ください。**http://www.sony.co.jp/support**

使い方相談窓口	フリーダイヤル……0120-333-020	
	携帯電話・PHS・一部のIP電話・0466-31-2511	
修理相談窓口	フリーダイヤル……0120-222-330	
	携帯電話・PHS・一部のIP電話・0466-31-2531	

※取扱説明書・リモコン等の購入相談はこちらへお問い合わせください。

左記番号へ接続後、最初のガイダンスが流れている間に「308」＋「♯」を押してください。直接、担当窓口へおつなぎします。

FAX（共通）0120-333-389
受付時間
月〜金：9:00〜20:00
土・日・祝日：9:00〜17:00

ソニー株式会社　〒108-0075 東京都港区港南1-7-1

その他